

代表質問

区政を

本会議の録画中継を

区議会ホームページでご覧いただけます

ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>

*WIN, WIN:両者に有利な

*グリーン・ニューデール:脱温暖化ビジネスを広げること、環境と経済の両方の危機を同時に克服するもの

3千412件で、前年比267件の減少となっており、一定の成果をあげたものと考えている。
治安対策には警察との協力関係が必要だ

【問】ワンチャリ・ツーロック作戦の運動効果を、どう評価しているのか。錠を配るだけでは限界もあると思うがどうか。
また、治安を守るには、地域住民とともに警察の力も欠かせない。警察との協力関係は、円滑かつ強力に行われているのか。

【危機管理】マスコミでも取り上げられ、キャッチフレーズやその趣旨は広く区民に認識していただけたものと考えている。
今後は、自転車盗防止シールの作成や自転車駐輪対策との連携等、対策の強化に努めていく。

また、警察署とは、地域安全の日等の様々な機会に、この運動の趣旨を伝えていただく等、今までにない協働関係を築けた。
環境問題に対する区民意識の変化について伺う

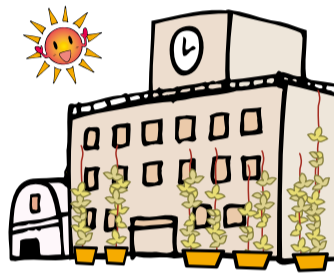
【問】「環境サミットin足立」から1年が経過したが、区長は区民の意識がどのように変わってきたと感じているのか。

また、区の温室効果ガス排出抑制目標を達成するため、今後どのような区民施策が必要と考えているのか。

【区長】足立区政に関する世論調査によれば、省エネを心がけている人の割合は、この一年間で4.8%増加した。環境に対する区民の意識が確実に強くなったことを示すものと考えている。
今後も、温暖化防止区民会議と協働し、自然エネルギーの利用等と呼びかけ、成果が見える

よう工夫を継続していきたい。
学校や公共施設への太陽光発電設備等の設置状況はどうか

【問】政府は4月、日本版グリーンニューデールとも言おうべき「緑の経済と社会の変革」を発表した。学校や公共施設への太陽光発電設備の設置、建物の屋上・壁面緑化を促進する「緑の社会資本への変革」について、区の現状及び課題を伺う。



【資産管理】昨年度、公共建築物の「足立区環境にやさしい建物づくり基準」を策定し、今年度以降設計する施設の新築、改築工事等に、太陽光発電パネルの設置を原則義務化した。
緑や環境の視点からは、建物外装材による熱負荷低減等総合的な対策を推進し、モデル建物の場合、CO₂排出量を約30%削減できるよう取り組んでいく。

太陽光発電パネルの整備には、各種補助制度の活用が重要となるので、特定財源の確保に努めながら、取り組んでいく。
中学校の教科書採択の事務簡略化について考えを伺う

【問】今回の採択は、現在使用している教科書からの変更点は少ないと聞く。採択事務を簡略化した自治体もあるが、教育委員会での考えはどうか。
また、区民にも広く公開し、区民の声を採択者である教育委員に伝えるべきと思うがどうか。

【教委長】今回は、社会の歴史的分野で検定に合格したものが一つあるが、それ以外は内容に大きな変更はないと聞いている。しかし、前回の採択時と今回では、教育委員が全員替わっていること等から、採択事務を簡略化しないで対応していきたい。また、教育相談センター等において教科書展示会を行う。参加された区民にアンケートをお願いし、その声は直接教育委員に届く仕組みとなっている。
小・中学校の適正規模・適正配置をどのように進めていくのか

【問】「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて「検討素材」」の発表後、対象となった学校や地域への対応はどのように行われたのか。
また、区内全域での適正規模・適正配置をどのように進めていくのか。
さらに、施設更新は、小・中学校だけでなく、校外施設等もあり課題は多いと思うが、対応をどのように考えているのか。

【教育長】本木東小学校では、7回、開かれた学校づくり協議会等で区の考え方を説明した。他の地域も、時期等を見て協議を進めていく。
また、全区的には、大規模開発等による、児童・生徒数の変動を見ながら進めていく。

日光林間学園等は給排水設備等の更新期で、山中湖林間学園は建替え期にあるので、施策等の抜本的再構築を図っていく。
また、地域学習センター等は、中期財政計画に則り、順次計画的に大規模改修を進めていく。

あだちキッズアカデミー事業等の進捗状況はどうか

【問】あだちキッズアカデミーやあだちサマースクール事業は、民間事業者等の力を活用した補充教室であり、子どもたちの学習意欲の向上等を目的に実施する方と進捗状況について伺う。
【学校教育】あだちキッズアカ

足立区議会公明党

区民生活に直結した経済対策の推進を!



公明党

ふちわき 啓子 議員

雇用政策における見解を問う

【問】中小企業には9割助成される「雇用調整助成金」や、都内の「就職チャレンジ制度」等の周知徹底を図り、活用を促すべきと思うがどうか。

また、緊急雇用創出事業に1億5千万円の予算を投じているが、何を中心に取り組むのか。
【産業経済】各制度については、マッチングクリエイターや公社ニュース「ときめき」等により、周知に努めていく。

緊急雇用創出事業については、今後の事業展開に必須の様々な基礎調査や、美化推進関連業務委託等を中心に取り組んでいる。
緊急経営資金の反響はどうか

【問】この事業は6月1日から受付開始された。事前の問合わせが多いと聞くが、状況を伺う。
【産業経済】事業者からは大変好評を頂き、初日から多くの方が来所し、6月5日現在、約450件の融資申込みを受理した。
学校施設の充実化を図るべき

デミーは、全校展開が容易かつ効果的に進められるよう、6月中にモデル校での実験的な取り組みを行い、実施スキームを固めていく。
あだちサマースクールは、夏季補充教室に、指導員を2名程度配置し、各校の状況に応じた工夫により、学習効果を高めていく。45校で実施予定である。

現在検討を進めている。
新たな保育体制を構築せよ

【問】足立区の保育体制にあって、短時間パート勤務の保護者への対応は重要課題であり、発想の転換による新たな保育体制の構築が必要となる。待機児解消とともに、雇用拡大と地域振興につながる保育について伺う。
【子ども】昨年実施した調査では、就労意欲のある就学前児童の母親の約4割が、週3日、1日4、5時間程度の就労を希望しているという実態が判明した。

一時保育等既存制度の効果的な活用策とともに、NPOや民間事業者との協働による保育体制等、さらに検討を行っていく。
プレミアム商品券を発行すべき

【問】10〜20%程度の割増額を加えた「プレミアム商品券」が各自自治体で発行されている。区内消費喚起策として、当区でも実施すべきと思うがどうか。
【産業経済】プレミアム付き商品券の発行は、区内消費喚起策として大変効果的な事業と考えている。足立区商店街振興組合連合会との協働を前提に、実施する方向で検討していく。

【学校教育】既存校舎には、施設の改築時や大規模改修時に、太陽光発電や屋上緑化等のエコ改修を進めていく。
また、パソコンの増設等、ICT環境の整備については、国庫補助金等の財源確保も含めて

【福祉人材の雇用を確保せよ】ハートフルワークコーナー」と称する看護・介護・保育分野の就労専門窓口が設置され、効



【問】ハートフルワークコーナー」と称する看護・介護・保育分野の就労専門窓口が設置され、効